

受験予定の大学生を航空自衛隊入間基地に招待



職種ごとに分かれ隊員と交流



格納庫でパイロットから説明を受ける参加者たち

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は 8月6日（火）、航空自衛官を目指す大学生3名を入間基地見学会に引率した。当日は隊員から担当の職種についての説明や、デイスカッションの時間が設けられたり、隊員食堂で体験喫食があったりと自衛隊を肌で感じてもらった。格納庫内では入間基地で運用している各航空機を見学し、パイロットより説明を受けた後、実際にT-4やC-1のコクピットに乗り込む体験もできた。参加者は「まさか実際に乗せてもらえると思っていませんでした！テンション上がっています！」と興奮した様子で、普段体験できない貴重な時間に終始笑顔であった。見学後「本気で航空自衛官になりたいです」「女性も活躍できそうだと感じました」と嬉しい感想があった。

市ヶ尾募集案内所は「航空自衛隊を理解してもらえら有意義な見学会で、各職種の隊員と直接交流できたことで航空自衛官を身近に感じてもらえた。今後も各受験者のフォローを継続し、入隊へとつなげていきたい」としている。



海自受験予定者の高校生を厚木基地航空部隊へ招待

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は 8月21日（水）、9月に受験を控えている高校生3名を海上自衛隊厚木基地に招待した。これは、海上自衛官の仕事の間近で見学してもらい、海上自衛隊航空部隊の仕事について理解を深めてもらうおうと企画したものである。

厚木基地勤務経験者の井坂広報官の案内で、高校生3名は米軍と共用の厚木基地へ入門した。身分証提示を求められた際は緊張した表情であったが、滑走路や航空機が見えてくると「広いですね、想像以上です」と基地の広大さに目を奪われていた。第51航空隊の協力により、格納庫内のP-1哨戒機を見学した。現職の自衛官から航空部隊の仕事内容や航空機整備について説明を聞く姿は、真剣そのものだった。参加者たちは初めての体験に目を輝かせながら「飛行機をこんなに近くで見たのは初めてです」と機体に見入っていた。見学終了後には「自衛隊にこんな職場があるのですね」「航空学生の試験も受けてみたいです」と嬉しい感想があった。厚木基地の魅力を理解してもらえた充実の見学となった。

市ヶ尾募集案内所は「自衛隊に馴染みのない高校生を厚木基地に招待できたことは、受験意志の向上と海上自衛隊の職場を理解してもらえら良い機会となった。これからも受験者たちの不安払拭に努め、確実に入隊へとつなげていきたい」としている。



哨戒機P-1・隊員と記念撮影



説明を熱心に聞き入る参加者たち

